

～児童生徒と向き合う時間の確保のための学校改革を！～
学校改革プロジェクト支援事業

第2回中間報告会

平成26年2月18日(火)に県立教育センターで、第2回中間報告会を開催しました。平成25年度のモデル校7校から、校務改革と授業改革の取組みと成果や課題について報告がありました。その概要をお知らせします。



モデル校での主な取組みと成果

＜校務改革の主な取組み＞

- ☆職員会議・朝会・各種会議の削減
- ☆日課表の変更
- ☆部活動担当者振り分け・活動日の改善
- ☆会議の方法の見直し(ワークショップ形式での実施)
- ☆通知表ソフト・勤務時間入力ソフトの作成・・・など

＜授業改革の主な取組み＞

- ☆アクティブラーニングの実践
- ☆基礎基本の確実な定着
- ☆学習態度5原則の徹底
- ☆児童生徒と教職員が学び合うことができる授業改善
- ☆授業の受け方、学び方の共通理解
- ☆対話を意識した授業づくり
- ☆複式指導のノウハウの活用・・・など

子どもと向き合う時間の確保

＜校務改革の主な成果＞

- ★会議や日課表の変更・部活動担当の改善で、時間的ゆとりができ、放課後に教材研究、面談、補習ができるようになった。土日出勤が少なくなった。
- ★朝会の削減で、登校時間に教室にいることで、遅刻者が少なくなり、教室が落ち着いた雰囲気になった。
- ★各種ソフトの作成で、職員の業務効率化の意識が向上した。担当者の資料作成の負担が軽減。ワークショップ形式の会議は、時間の短縮化と全員参加の意識向上。・・・など

＜授業改革の主な成果＞

- ★教職員の授業づくりに対する意識向上。共通実践の共有。
- ★児童生徒の授業に対する意識の向上。友達同士で学び合う姿。
- ★個に応じた指導の充実。
- ★基礎基本の定着。
- ★ICT機器の使用頻度の向上。・・・など

▽この紙面では、詳しい内容まで紹介できませんが、モデル校で少しずつ変化の兆候が表れているようです。

▽また、取組みの実践に対しての課題等も報告されました。

▽詳しい内容は、報告書として各学校にお知らせする予定です。平成25年度の取組みと成果は、県教育委員会ホームページに掲載しています。

<http://kyouiku.higo.ed.jp/page2010/page3273/page4900/>

学校改革プロジェクト支援事業

平成 26 年度は新たに 10 校のモデル校が加まりました

平成 26 年度モデル校 (10 校)

新規

平成 26・27 年度に取組

山鹿市立三玉小学校
 菊池市立泗水小学校
 菊陽町立菊陽中部小学校
 御船町立小坂小学校
 芦北町立田浦小学校
 錦町立木上小学校
 玉名市立岱明中学校
 八代市立第八中学校
 県立鹿本商工高等学校
 県立荒尾支援学校

今年度、新たに 10 校のモデル校が加わり、17 校の学校(小学校 10 校、中学校 4 校、高校 2 校、特別支援学校 1 校)で学校改革に取り組めます。

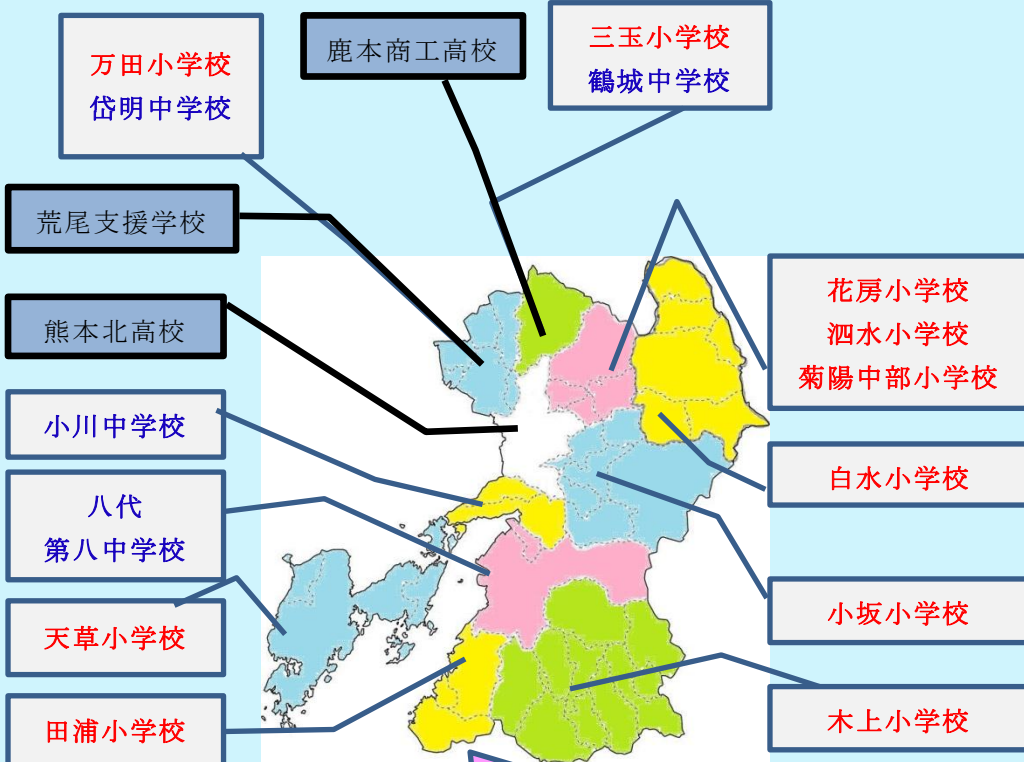
校種や規模等が異なる学校が増え、県内の広範囲にモデル校を配置しています。地域や学校毎に異なる課題等を踏まえた校務改革や授業改革に取り組めます。

今後も学校改革の成果を普及して参りますので、モデル校の取組みを参考に、是非、各学校で改革に取り組んでください。

平成 25 年度モデル校 (7 校)

平成 25・26 年度に取組

荒尾市立万田小学校
 菊池市立花房小学校
 南阿蘇村立白水小学校
 天草市立天草小学校
 宇城市立小川中学校
 山鹿市立鶴城中学校
 県立熊本北高等学校



県内の広範囲にモデル校を配置。
 様々な校種や学校規模のモデル校が学校改革に取り組めます。

お問い合わせ先
 教育政策課 学校改革 PT
 担当者 森田、徳田、森
 TEL 096-333-2673
 Mail tokumei-pt@pref.kumamoto.lg.jp